

建設設備操業訓練施設整備計画

2021年12月の成果

- 12月1日、METRACの第4回技術委員会（TC）を開催し、落札業者である株式会社アーチデザインと共にエンジニアリングデザインのプロセスを開始しました。TCでは、技術責任者のコメントを落札業者に伝え、マスタープランと予備設計を検討する次回のTCの日程を決定しました。
- 12月14日、第5回技術委員会(TC)を開催しました。落札業者からは、プロジェクト・サイトのマスタープランと建物の予備設計についてプレゼンテーションがありました。TCは、このプレゼンテーションを評価し、次のステップに向けたコメントをしました。
- UNIDOは、カンパラ（11月3日）、ブゲンベ（11月4日）、グル（11月16日）、ムバララ（11月18日）で実施した安全衛生トレーニングのレポートをすべてのプロジェクト関係者と共有しました。
- マスタートレーナーからCMWカンパラグループへ理論トレーニングの追加課題が共有された他、eラーニングも継続されました。



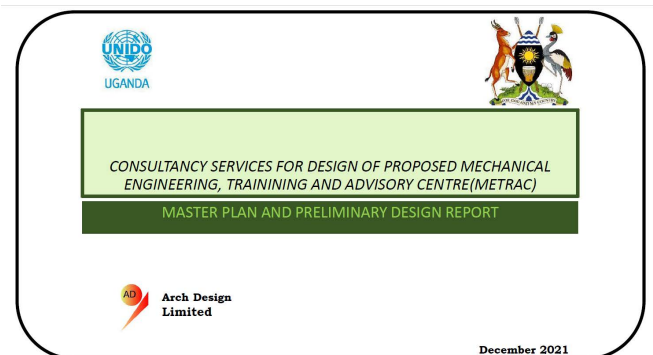
CMWカンパラの所属講師、UNIDOに理論課題を提出 © UNIDO



第4回TC会議にてマスタープランを発表 © UNIDO

2022年1月の活動予定

- UNIDOとMoWTは、MoWT所属講師50名のために、2月初旬から4月末まで合計12週間の予定で実施される対面式トレーニングの準備をします。対面式トレーニングの終了時には、すべての所属講師がDITによって評価され、合格すればウガンダ初の「プラントオペレーター・トレーナー」として認定されます。
- UNIDO、産業研修局(DIT)、ヴィクトリア・エクイップメントは、評価・研修パッケージ(ATP)「プラントオペレーター研修 レベル4」のための将来の評価者向けのワークショップを開催する予定です。このワークショップの参加者は、DITの登録評価者となり、ワークショップ終了時にはMoWT所属講師50名を評価することができるようになる予定です。



マスタープランと予備設計レポート © Arch Design